

株式会社刀川平和農園

栃木県鹿沼市

需要獲得

ものづくり

4つの特許技術で「土づくり」に革命 高品質培養土の製造技術で海外市場を開拓

地域資源である「鹿沼土」「赤玉土」の採掘、およびそれらを原料とした園芸用の土を製造し、ホームセンターなどへ出荷している。また、プランター、フラワーラック、フェンスなど園芸に関するさまざまな資材を取り扱う。土の製造に関する4つの特許技術を持ち、400種類以上の高品質な培養土製品を年間約1千万袋生産。多くのお客様に安心とご満足をいただける高品質な製品を持続的に提供するため、土のパイオニアメーカーとして、またトップメーカーとして、さまざまな観点から土づくりに取り組んでいる。

所在地 栃木県鹿沼市緑町3-9-17
電話/FAX 0289-65-1685 / 0289-65-1688
URL <http://www.tachikawa-heiwa.com/>
代表者 代表取締役社長 刀川 貴美子

設立 1965年
資本金 8,205万円
従業員数 91人



特許技術による、こだわりの土づくり

原料となる土の粒子を崩さずに、ばらつきなく混合して培養土を製造する独自技術を開発。これにより、他社では真似のできない、原料の持つ孔隙や粒状等の構造を維持したまま、高品質の培養土を大量に製造することが可能。また、特許配合を用いた培養土【スーパー・グレード園芸培土W】は、従来の粒状タイプ培養土の唯一の欠点である「水はけがよすぎる」点を、保水剤(CMC)を配合することにより解決した商品である。保水性・排水性・通気性・保肥力等、すべてに優れた性能を持つ培養土の開発に成功している。



特許配合を用いた培養土

高品質培養土製造技術により海外市場を開拓

海外における園芸需要をリサーチし、地域資源である鹿沼土や赤玉土の輸出にいち早く着手。社内に輸出入チームを設置し、商社を活用して、国産の鹿沼土や培養土の評価が高い中国、韓国などの東アジア方面に市場を展開。「赤玉土、鹿沼土」の輸出にあたっては、「熱風乾燥処理流動層乾燥装置」を用いて乾燥処理を行う。赤玉土や鹿沼土の粒を、一つずつ均一に高温乾燥処理が可能。厳選された原料を高温乾燥処理することで、より高品質な土を製造することができる。高品質な培養土をつくるうえでも重要な技術となっている。



国際ガーデンEXPO出展の様子

業界初のAIロボット導入による生産現場の効率化と女性目線のものづくり

市場での需要の変化にいち早く対応し、独自の生産ラインを構築。園芸用土産業としては、いち早くAIを生産現場に導入し、生産性の向上を図っている。新商品の開発過程における生育試験や化学性についての各種試験、製造時や流通時でのサンプル調査など徹底した品質管理を行う。雇用においては例年3~4名の新規雇用を創出。特に女性の採用割合が急増しており、貿易部門、物流部門、開発部門で多くの女性が活躍する。女性ならではの感性や閃きを製品やサービスにフィードバックしている。



培養土工場の様子

需要獲得

ものづくり